

第1182号

株式会社 茨城木材相互市場

2018

# 那珂川NEWS6

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

皆様方のご支援に心より感謝します！ (2018年3月期)

## おかげさまで15期連続の黒字決算

### 皆様方から選ばれる企業を目指す

- 県産材の供給基地として確固たる地位を確立する
- 時代変化へ対応する情報発信基地の役割を担う
- 勝ち組になるための具体的提案・対応を行う

弊社の第63期(2017年4月～18年3月)業績は、売上高47億3400万円(前期比1.2%増)、売上総利益3億7100万円(同6.8%増)という結果となりました。当期は積極的な設備投資(新システムの導入、太陽光発電事業)を実施し減価償却費用が大幅増となったことから、経常利益は1300万円(同12.2%減)当期純利益は575万円(同50.9%減)と厳しい結果となりましたが、経営的には15期連続の黒字決算(自己資本比率は25.2%)を達成し株式配当7%をご提案することができました。これも偏に皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当期は、年間を通じて国産材、外材集荷に厳しさがありませんでしたが、品薄を背景に価格は安定し、市売事業は堅調に推移しました。期中、「全社統一新システム」を導

入し取引先の皆様方から信頼される営業管理システムの構築や残業問題を含めた労働環境の改善(業務の合理化・事務処理の負担軽減など)に積極的に取り組ませていただきました。

また本社敷地内の不動産有効活用として、様々な課題を丁寧で解決して大型の太陽光発電設備を設置し、平成29年度末から本格稼働させることが出来ました。

弊社が事務局を担っている「茨城・森から家Net(地域型住宅グリーン化事業)」は県内に本社を置く事業所では最大の41戸が採択され、弊社が長期優良住宅の確認申請業務や瑕疵保険などの営業後方支援の役割を果たすことが出来ました。さらに、建築士会、建築士事務所協会とともに、非住宅分野への取り組みを進め、緊密に連携する八溝多賀木材乾燥協同組合を通じての県産材製品の供給に対し、一定の役割を担うことができたと思います。

新規商材では、ドイツ産ウッドファイバー断熱材エコボードの販売代理店となり、県内のビルダー、工務店への在庫販売を始めました。このほか、弊社本社がSGECのCOC認証を取得(既報)、弊社が地域の核となり、今後県産材の森林認証整備を進めていきたいと考えております。

## ◆人事異動に伴う『新体制』(平成30年6月1日付)

私たちは、「感謝の心」と「あきらめない心」をもって、皆様方から「選ばれる活気ある集団」を目指します！

代表取締役社長	打越 芳男	木材営業部長	小橋 正義(昇任)
代表取締役専務	大谷 知行	プレカット営業部長	神長 敦(昇任)
取締役会長	益子 壮一	財務総務部長	田中 高志(昇任)
常務取締役	安島 和久(昇任)	つくば営業所長(部長代理)	田崎 武平(昇任)
取締役	岡山 善弘	木材営業部長代理	白澤 敏行(昇任)
取締役木材統括部長	鈴木 裕二	ハウジング事業部長代理	平山 智哉(昇任)
執行役員住宅建材部長	信木 邦夫(昇任)	住宅建材部長代理	栗原 大輔(昇任)
		住宅建材部リーダー	関根 正宏
監査役	砂押 賢治	サホートセンターリーダー	佐藤 耕一
監査役	皆川 正一	木材営業部リーダー	神永 健一(昇任)
		財務総務部リーダー(事務外)	土屋 忍(昇任)

### ◆社訓

わたくしは仕事の上で  
ことのよいわるいに  
とらわれず  
事実を示します

### ◆行動基準

ともに話し合い  
ともに気づき  
ともに決定し  
ともに行動する



## ■わたしたちの使命 (茨城木材の社会的役割)

「消費と生産を結び価値ある架け橋」となる  
— 循環型地域環境の創造 —

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



## [市日予定]

〈 本 社 〉

6月13日(水) 記念市

上半期最大の記念市!

「木材まつり」

6/13(水) 12:30~

〈 つくば 〉

6月7日(木) 記念市

14日(木) 通常市

21日(木) 記念市

28日(木) 通常市